

## 都築正光議員

約20年前までは、道路の新設や改良に約20億円の予算をもって整備をされてきた。この結果、ほとんどの民家には道路が開通した。しかし、脆弱な地盤への道路開設というところもあり、路面の損

耗が著しい箇所から予算の計上を望む。

国の制度により道路の災害復旧工事を施工した際、ガードレール設置用の穴はあるが、ガードレールは設置されていない。国土交通省は本年度国道32号の日浦から永洲

間のガードレールを交換した。まだ強度的には問題ないと思われるので、払い下げを受け未設置箇所へ設置をしてはと考えるが。

## 岩崎町長

国土交通省地方整備局土佐国道事務所へ協議を行う。町民にとって安全で快適な通行ができるよう整備する。

## 都築正光議員

農道の維持補修の受益者負担は70%、生活道は1路線補助金200万円というルールがあるが、超高齢化社会に突入している状況を考えると、なるべく負担がかららないよう見直しする必要があるのでは。

## 岩崎町長

町民の要望に応え事業を実施するためには、ある一定の負担はやむを得ないと考えている。なお平成23年度予算編成時に検討する。

## 若者定住につながる

## 大豊教育のあり方は

問 これからの大豊教育について教育委員会の信念を聞く  
答 小学校と中学校の計画的で系統的な一貫教育を行う

小笠原春行  
議員

の発表に感動したところである。家庭教育、学校の教育指導によって、吉川君のような子どもに成長されるのでは感じたところであるが、町長はどのように感じたか。

## 岩崎町長

私も、その場に同席しており、その作文の発表を聞き小笠原議員と同様、大豊町で自分が頑張るんだという意志をみんなの前で語る姿に本当に



角茂谷(本村)地内



大杉小の吉川佑樹君

感銘を受けた。また、大田口小学校では高知市で大豊の特産品を販売するとか、大豊町中では文化祭を大豊町民俗芸能大会と合同で開催したり、大豊町の子どもたちは素直に、元気に育っていると感じている。

環境の中で生まれ育った大豊の風土の中で郷里を守る若者を育成するといふ、これからの大豊教育について教育委員会の信念を聞く。

## 吉松教育長

教育委員会としては小学校と中学校の9年間を1スパンとして捉えており、一体的な枠組みの中で、児童生徒の精神的、身体的な発達段階に沿った教育指導を行い計画的

## 小笠原春行議員

地域おこしには人材の確保が大切で、本町行政教育に課せられた責務であると思うが、農林業の

## 農協育苗施設の重油流出

## 事故に対する対応は万全か

問 農協の被害者に対する対応が十分でない  
答 当事者が納得いく協議により解決すべきである

## 小笠原春行議員

平成22年5月19日農協の育苗施設より温室用の重油が漏れ中屋地区の水田に流入した。その後の農協の対応は加害者責任を放置し、被害者の電話抗議により「重油流入に関する育苗の補償についての覚書」を持参したが、一方的な文書によるものであり、なんら謝罪的な文言はなく高圧的な文書であった。農業を守り組合員を保護育成する役割を持った農協本来の運営に反する行為であると私は判断するが、町長はどのように判断するか。

## 岩崎町長

通告をいただき土佐れいほく農協に問い合わせをしたところ補償については協議中であり、来年度の作付けについては農業改良普及所等の指導をいただいて、万全の対策をとっていくとのことである。

農協は組合員が組織する団体であり、組合員と組合に信頼関係があつてしかるべきで、この問題については、お互いが納得のいく協議により解決すべきと受けとめている。

## 小笠原春行議員

この件について、農業

門脇  
農業委員会会長

委員会会長の意見を聞く。

嶺北広域行政事務組合の火災予防条例の中に指定数量の5分の1以上、指定数量未満の貯蔵及び取り扱いをする者は届け出なければならず取扱要綱において流出等の事故が起きた場合は直ちに消防署へ通報し、吸水マッ

農地等に流出した場合われわれが一番心配することは、処理ができなくて土壌に浸透した場合に、今後農作物等にとどのような影響を与えるかであり、それにより農家と組合が話し合いをする必要がある。

## 小笠原春行議員

行政の補助機関の団体としての農協が加害者としての事後処理ができてない、このような時には行政として指導力を発揮すべきであるが、どのように考えているか。

## 岩崎町長

被害者が農協の対応について納得する必要がある、十分協議をし早く結論を導くよう、その対応を農協に話したい。

## 小笠原春行議員

農協の事後処理の経過を文書による提出を求める。

## 岩崎町長

議会に報告する。



大豊町民俗芸能大会